

65歳以下限定！町会なんでもおしゃべりサロン 開催記録

～Aグループ記録（概要版）～

開催日時：令和5年10月20日（金）午後6時半から8時まで

開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム

Aグループ：町会長・役員 5名

○現在の町会活動について

- ・総会、合同祈願祭、ねぶた、子ども会、日帰り旅行、ラジオ体操、忘年会など。
- ・どの行事も決まった人（町会役員）が参加。

○情報発信について

- ・回覧板について。（隣人へ回す煩わしさ、回覧内容をよく見ていない、回覧内容がわからない場合、誰に聞けばいいかわからない。）
- ・町会便りの発行は年1～2回程度。
- ・町会便りを作成する人に負担がかかるためやめた。
- ・市からの配付物が多い。配付物を整理して回す作業ができる若い世代が町会に入ってくれたら。
- ・市の広報配付、月2回は多い。

○町会の区域について

- ・住所の大字と町会名が一致していない場合、自分の加入町会名がわからない人が結構いるのでは。

○町会加入の勧誘活動について

- 町会の具体的な説明もないままに、加入させているのでは。
- 転入者はどうやって把握？
- 町会長さんだけでなく、班長さんなど自分のエリアに家が建てばすぐわかる。
- 昔は、新しい人が移り住んでくると、すぐ気づいていた。
- 今の時代、知らないお宅に勧誘に行くのは、なかなか出来ない。
- 先に、チラシなど入れて連絡先を明かした上で、勧誘に行くのが大事。

○町会運営のこれからについて

- 町会に関心を持ってもらうため、町会側が軽やかに敷居を下げていく必要がある。
- 町会業務をもっと簡単に出来るように変えて欲しいが、年配の人達に我々の世代が意見を言っても、容易に変わらない。
- 若年層に、どうしたら町会に目をむけてもらえるか。
- 町会に入らないと何が困るかを聞くと、ごみと広報しかない。
- 町会に加入するメリットとして、何をみせるか。何が、メリットになるか。
- 集会所を開放して、居場所づくりなど。

65歳以下限定！町会なんでもおしゃべりサロン 開催記録

～Bグループ記録（概要版）～

開催日時：令和5年10月20日（金）午後6時半から8時まで

開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム

Bグループ：町会長・役員 4名

○会計の透明化・見える化について

- 町会の運営状況を見える化し、町会費の使い道が分かるようにしている。
- 高い、安いではなく、有意義に使われているか。町会運営に役立っていると分かれば、協力してくれる。
- 町会費について。
（2世帯住居、独居老人、アパート、企業などの町会費を具体的に示しながら。）

○会計の運用方法について

- キャッシュカードを作り、通帳から引き出す際は、ATMから手間なく引き出している。
- パソコンで会計を管理している。

○各種組織について

- 町会組織を整理した。
- 引継ぎ書が無いと、充てられる役職や役職内容が分からなければ、成り手も無くなる。

- 仕事をしながら役員をやっている人もいる。日中動ける人となると、限られた人達しか出来ない。

○各種手当について

- 集会所の掃除当番へ手当。（業者に依頼してもいいのでは、との考えも。）
- 再生資源回収を町会の財源とするため実施したいと考えている。
- 町会長の報酬について。（具体的に金額を示しながら。）
- なんでも無償でやるのではなく、少しでも日当を出さないと、これからの時代の人はついてこない。

○ごみ集積所の除雪について

- 近くの利用者の善意でやってくれている。
- いつも同じ人がやってくれているが、班長の持ち回りにするべきか。
- 町会便りで、お互いに協力し合うことを啓蒙している。